

## 警視庁公安二課長と JR連合角田会長が密会！

今年2月上旬、JR連合・角田会長と警視庁<sup>かやき</sup>栢木國廣・公安二課長（現公安一課長）が東京・赤坂の“高級会員制”スナックで飲食を共にしていたことが明らかになりました。栢木氏といえは昨年10月27日、麻生首相の自宅を見に行く「リアリティツアー」を弾圧し3人を逮捕した時の指揮者であり、1月25日、京品ホテル強制執行の際にも現場に現れている公安警察を代表する有名な人物です。

労働組合とは、いうまでもなく平和を希求し、労働者の権利を守り労働条件向上のために闘う組織です。一方公安警察は、戦前の特効警察の流れを引き継ぎ、「公共の安全」と称して労働者を弾圧してきたのは、歴史・事実が証明しています。まさに労組と公安警察は、「水と油」の関係です。その「水と油」の「親分」同士が、飲食を共にするということは、一体どういうことでしょうか。お互いの思惑が一致したのでしょうか。公安警察と酒を飲む関係にある者が、指導するJR連合の運動の質は「推して知るべし」です。あの『週刊現代』連載記事がそうであったように、「民主化闘争」も公安警察とタッグを組んで進めているということは明らかです。

ところで、JR東海ユニオン・水嶋委員長も公安筋のお友達がいらっしゃるのでしょうか。まさかそんなことはないでしょうね。でもそういえば、JR浦和電車区事件担当、『週刊現代』では、警視庁幹部B氏で登場したとマスコミ関係者の間で噂されている三森貫一・元警視庁公安二課長（まさか、2月の“スナック”密談にいたりして？）が、特段のお計らいで、JR東海関連会社の双葉鉄道工業に天下っていると聞いていますから、いろいろ相談して、「ユニオントライ」「あるべき労働組合像」構想なんかも共に練り上げたのかも知れませんね。

「麻生太郎邸拝見ツアー」弾圧の映像は「YouTube」で見ることができます。

**JR東海ユニオン水嶋委員長！  
貴殿も警視庁公安部と密接な  
お付き合いしているのですか？**